

読み継がれる日本児童文学の最高傑作を、  
幻想の大画面で

# 赤いろうそくと人魚

中央児童福祉審議会推薦文化財



原作/小川未明 脚色・演出/山形文雄 美術/田中佑子 制作/山形重和

この名曲には、感動の秘話があった  
影絵音楽物語

## 大きな古時計



作曲/ヘンリー・クレイ・ワーク 構成・演出/山形文雄 美術/田中佑子 制作/山形重和

名作の中にあるメッセージを読み解き、子どもたちと考えたい。

## 赤いそうそくと人魚

北の海に人魚のお母さんが住んでいました。海には怖いけものが棲んでいる。

お母さんは生まれてくる赤ちゃんが安心して暮らしていけるところで育てたい、と思いました。

お母さんは赤ちゃんを、人間に育ててもらおうと、神社に赤ちゃんをおいたのです。

赤ちゃんはろうそく屋の老夫婦に育てられ、美しい娘に育っていきましたが……。

人魚の娘をめぐて、信頼、愛、幸せ、友情と、さまざまな思いが絡み合っていきます。

自分と他の人の願いを重ね合わせて、共に生きていくことの大切さを考える切っ掛けにして欲しいです。



この名曲には感動の秘話があった。



## 大きな古時計

「大きな古時計」を作曲した ヘンリー・クレイ・ワークは 1830 年ころ活躍した、アメリカ人です。イギリスを旅行中、とあるホテルのロビーに、止まって動かない時計がおかれていました。

けれど、ホテルに入って来る町の人たちは、人に挨拶するかのように時計に「こんにちわ」と声をかけていきます。

「これは壊れていますね」クレイ・ワークがいうと「これは町の人たちにとって自慢の時計なんです……」

不思議な話を聞いて感動したワークは、後日心をこめてこの曲を作曲したのでした。

さあ、みなさんも一緒に歌いましょう

おおきな のっぽの ふるどけい  
おじいさんの とけい  
ひやくねん いつも うごいていた  
ごじまんの とけいさ  
おじいさんの うまれた あさに  
かってきた とけいさ

♪ いまは もう うごかない そのとけい  
ひやくねん やすまずに  
チクタクチクタク  
おじいさんと いっしょに  
チクタクチクタク  
いまは もう うごかない  
その とけい

なんでも しってる ふるどけい  
おじいさんの とけい  
きれいな はなよめ やってきた  
そのひも うごいてた  
うれしい ことも かなしい ことも  
みな しってる とけいさ

♪ くりかえし

まよなかに ベルが なった  
おじいさんの とけい  
おわかれの ときが きたのさ  
みなに おしえたのさ  
てんごくへ のぼる おじいさん  
とけいとも おわかれ

♪ くりかえし

### お問い合わせは

フリーダイヤル 0120-03-1061

TEL 03-3710-1061 FAX 03-3710-1408

〒152-0001 東京都目黒区中央町1-15-21

E-mail info@minwaza.com

ホームページ http://minwaza.com